

1. クラスライブラリ

新規インターフェース

- ◆ CSeDrawParameters::SetMapTextAvoid(), マップのテキスト回避を設定します。
- ◆ CSeDrawParameters::IsMapTextAvoid(), マップのテキスト回避を判断します。
- ◆ CSeDrawParameters::SetMapTextFilter(), マップのテキストフィルタを設定します。
- ◆ CSeDrawParameters::IsMapTextFilter(), マップのテキストフィルタを判断します。
- ◆ CSeLayerDef::SetTextFilter(), レイヤーのテキストフィルタを設定します。
- ◆ CSeLayerDef::IsTextFilter(), レイヤーのテキストフィルタを判断します。
- ◆ CSeLayerDef::SetTextAvoid(), レイヤーのテキスト回避を設定します。
- ◆ CSeLayerDef::IsTextAvoid(), レイヤーのテキスト回避を判断します。
- ◆ CSeFieldInfo::SetAllowDescription(), フィールド記述情報の追加を許可するかを設定します。
- ◆ CSeFieldInfo::IsAllowDescription(), フィールド記述情報追加の許可設定を判断します。
- ◆ CSePathNavigator::ResetForNavigate, m_nGPSPointIndex を-1 に設定すると、出発点から再度ナビを開始します。

◆ CSePathNavigator::GetNavilIndex, m_nGPSPointIndex の値を取得、つまり現在の GPS ポイントから 1 つ前にあるナビポイントの位置です。

◆ CSePathNavigator::SetNavilIndex, m_nGPSPointIndex に値を付与、つまりナビルート検索開始のナビポイントの位置です。

- ◆ CSePathNavigator::SetSearchRange, 検索にマッチするナビポイントの優先検索範囲を設定します。

インターフェース変更

- ◆ CSeDtawParameters::DrawAvoidText(), テキスト回転角度パラメータ dAngle を追加します。
- ◆ CSeDtawParameters::DrawText(), テキスト回転角度パラメータ dAngle を追加します。
- ◆ CSeMapWnd::OnDraw(), 描画機能を改良しました。

その他の修正状況

- ◆ フロー注記とテキスト回避を改良しました。
- ◆ ラスタシンボルを含むマップを拡大縮小する時に、ラスタシンボルがずれる問題を修正しました。
- ◆ 幾何オブジェクトをポイント選択したときにメモリークする問題を修正しました。
- ◆ VS2005 環境でのホットリンクデータセットインターフェースを開放しました。現在、VS2005 環境では BMP と PNG ファイルの表示をサポートします。
- ◆ シリアル番号の生成計算法を変更しました。

2. データ変換ツール

- ◆ パスワードで保護されたワークスペースとデータソースの変換機能を追加しました。
- ◆ SMW 中のラベル主題図に対してフロー表示属性をサポートします。
- ◆ ワークスペース変換プロセスで個別値主題図のスタイルが失う問題を一部修正しました。
- ◆ sdb を pmr に変換後、ネットワークデータセットのエッジの SmID を保存するようになりました。

3. デスクトップツール

- ◆ 「レイヤースタイル」ダイアログボックスのフォントサイズを表示する機能を改良しました。
- ◆ 「レイヤースタイル」ダイアログボックスに「テキストフィルタ」と「テキスト回避」チェックボックスを追加し、レイヤーごとにテキストフィルタ、テキスト回避が設定できるようになりました。
- ◆ 「マップ」メニューに「テキスト回避」と「テキストフィルタ」サブメニューを新規追加しました。

- ◆ マップ回転状態で幾何オブジェクトの作成、削除等の編集機能を追加しました。
- ◆ SeCurrency フィールドはサポートなくなりました。
- ◆ eSuperMap Viewer の IS サーバー接続機能を改良しました。

4. ヘルプドキュメント

- ◆ CSeDatasetLink::GetOutFileType()の戻り値の説明を更新。付記に CSeOFAgent クラスの説明を追加しました。
- ◆ CSeLineStyleEngine::ActPolyline()と CSeLineStyleEngine::ActPolylineEx()を区別して記述しました。
- ◆ インターフェース CSePathDiscover::IsReady()と CSePathDiscover::GetLinkCost()の使用条件の説明を追加しました。
- ◆ CSeThemeRange::enum と CSeThemeUnique::enum の枚挙値取得の説明を追加しました。
- ◆ eSuperMap Viewer に IS 接続のページを追加し、IS サーバーの設定について説明を追加しました。
- ◆ CSePathDiscover の内容を補充しました。